

令和2年度 会計決算報告

問 行政課財政係 ☎95-9869

9月市議会で認定された一般会計、4つの特別会計、3つの企業会計について、大切な金の使い道を報告します
(金額は全て1万円未満四捨五入／端数処理の関係で合計が一致しない場合あり)。

総括

歳入は、決算額413億9,050万円 で前年度比30.0%増でした。市税は法人市民税が前年度比4億5,486万円余(19.2%)の減で、主に法人税割の減によるものです。

歳出は、決算額385億3,982万円 で前年度比31.5%増でした。子育て支援や高齢者・障害者福祉・医療などにかかる民生費は、前年度比1億4,458万円(1.5%増)、道路や公園などの整備にかかる土木費は、前年度比6億1,125万円(16.2%増)でした。また、教育費は前年度比10億604万円(23.2%減)でしたが、ICT(情報通信技術)を活用する教育環境の整備を行いました。

また、歳入財源として、地方債(借金)を7億7,770万円発行して財政運営を行うとともに、財政調整基金に8億6,544万円、公共施設維持基金に1億2,054万円積み立てを行い、将来に備えました。

特別会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	60億869万円	59億4,380万円
訪問看護事業	9,613万円	2,435万円
介護保険	51億9,401万円	49億6,945万円
後期高齢者医療保険	9億6,752万円	9億6,524万円

企業会計決算

●水道事業

	収入	支出
収益的収支	15億3,569万円	13億3,520万円
資本的収支	2億685万円	7億1,487万円

●下水道事業

	収入	支出
収益的収支	29億1,202万円	25億9,671万円
資本的収支	24億5,162万円	38億1,168万円

●病院事業

	収入	支出
収益的収支	69億7,549万円	76億2,368万円
資本的収支	5億9,817万円	9億9,629万円

歳入

歳入の43.6%を市税が占めています。市税の中では、固定資産税が51.4%、市民税が38.5%で、全体の89.9%を占めています。法人市民税は19億1,903万円(前年度比19.2%減)となりました。

ふるさと応援寄附金も貴重な財源で、寄附額は29億4,443万円でした。ありがとうございました。



市税の内訳

項目	決算額
市民税	69億4,213万円
個人	50億2,311万円
法人	19億1,903万円
固定資産税	92億7,869万円
軽自動車税	1億9,923万円
市たばこ税	4億4,968万円
都市計画税	11億7,028万円

都市計画税の充当状況

項目	事業費	充当額
公園事業	1億2,580万円	385万円
下水道事業	3億9,829万円	2億4,148万円
地方債償還	15億737万円	9億2,495万円
合計	20億3,146万円	11億7,028万円



歳入総額
413億9,050万円
(前年度比30.0%増)



皆さんが納めた税金は、このように使われています。昨年は、生活支援対策を最優先とし、特別定額給付金の給付やプレミアム付食事券の発行など、新型コロナ関係の歳出がたくさんありました。

歳 出

総務費

感染症関連事業として、全市民に特別定額給付金を迅速に支給したほか、元気ッス！へきなん実施事業では、オンライン参加型イベントに変更し、新しい生活様式を取り入れた実施方法への移行に努めました。また、計画期間満了に伴い、第2次碧南市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第6次碧南市総合計画を策定し、今後の地方創生や市政運営方針を定めました。さらに、ふるさと応援寄附金事業では、継続して新規事業者や返礼品の掘り起こしを進め、寄附件数・金額ともに前年度を大きく上回りました。

民生費



感染症関連事業として、子育て世帯及びひとり親世帯に臨時特別給付金を支給し生活を支援したほか、市内保育園や介護施設、福祉サービス事業所などに対し、感染防止対策にかかる経費の補助や、生活困窮者への住宅確保支援などを行いました。また、高齢者の入浴施設利用券の枚数の拡充や地域包括支援センター西端出張所の開設準備、私立保育園への補助を実施し、高齢者福祉や子育て環境の充実に努めました。

衛生費

感染症関連事業として、水道基本料金の4か月分の免除にかかる経費の繰り出しを行ったほか、市民への円滑な接種を実施するための新型コロナワクチン接種に向けた体制確保や中学3年生、高齢者へのインフルエンザ予防接種補助などを実施しました。また、市環境基本計画に基づき、事業用次世代自動車購入費補助事業を開始し、温室ガス削減目標に向けた次世代自動車の普及促進に努めました。

土木費

生活道路整備事業として、市道の側溝・舗装の改良工事のほか、橋梁の長寿命化対策を行い、地域道路網の安全性確保に努めました。また、名鉄碧南駅のロータリーの混雑解消、良好な景観形成を図るため、駅前広場の拡張整備を行いました。

教育費

感染症関連事業として、各小中学校及び幼稚園に感染防止に必要な消耗品や備品を購入したほか、学校給食の中止により生じた就学援助認定世帯への家計の負担減を目的とした臨時特別給付や安心安全な修学旅行^{ギガ}を実施するためのバスの増便などを行いました。また、文部科学省が掲げるGIGAスクール構想の推進のため、児童・生徒1人に1台のタブレット導入を行い、ICTを活用する教育環境の整備や施設老朽化対策事業として、西端小屋内運動場防水改修工事を始め、中央小・鷺塚小・東中屋内運動場の外壁や屋根の改修、文化会館トイレの改修を行いました。他に、碧南スケートボードパークで開催されたスケートボード大会への補助を行い、スポーツの推進に努めました。

その他

飲食店への客足の激減に伴い市民に市内飲食店の活用を促す施策として、プレミアム付食事券を発行したほか、県緊急事態措置に基づく休業協力要請への協力金の給付や中小企業者の事業活動の継続及び雇用の維持を目的とした、雇用安定支援補助、経営改善支援補助などを行いました。また、感染症関連事業として、各避難所に感染症対策用品を整備し、感染防止対策を講じながら消防団活動や消防予備隊の訓練を行い、防災力の強化に努めました。



歳出総額
385億3,982万円
(前年度比31.5%増)